

課題克服に向けた授業改善3つのポイント



「感じて動」き出す」学びへ



1 学び出す

「確かめたい」「考えたい」「やってみたい」

すべての子どもが課題解決の見通しをもったり、解決方法を選択したりして、自ら動き出そうとする授業にします。

2 学び合う

「話したい」「聞きたい」「話し合いたい」

すべての子どもが友だちの話に耳を傾け、自分の考えを確かめたり、新たにしたり、磨き上げたりする授業にします。

3 学びとる

「分かった」「できた」「がんばった」

すべての子どもが今日の授業で「自分は何がわかり、何ができるようになったのか」を実感できる授業にします。

教師が「話す」授業から、
教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

～南会津自ら学ぶ子供の育成リーフレット8つのポイント
と関連した授業改善チェックリスト～

今日の授業で特に意識することは

＜すべての子どもが「学ひ出す」授業にするために＞

- A すべての子どもに結果の見通しをもたせたり、解決の見通しをもたせたりしている。(南会津版リーフレット①)
- B すべての子どもの多様な見方や考え方を引き出すことができる学習課題を設定している。(南会津版リーフレット①)
- C 教材との出合わせ方を工夫し、「考えたい」「やってみたい」という思いを引き出すようにしている。(南会津版リーフレット②・③)

＜すべての子どもが「学ひ合う」授業にするために＞

- D 友だちの考えを聞きたい、自分の考えを話したいと思う発問を設定している。(南会津版リーフレット①・③)
- E すべての子どもが、互いの考えを比較、検討、吟味することができる時間を確保している。(南会津版リーフレット⑤・⑥)
- F 子どもと子どもの発言をつないで、集団で学び合える授業づくりをしている。(南会津版リーフレット②・⑥)
- G 分からないことを「分からない」と言える安全・安心に学べる学級になっている。(南会津版リーフレット③)
- H 教師が話しすぎることなく、子どもが話す機会を多く確保している。(南会津版リーフレット④・⑥)

＜すべての子どもが「学ひとる」授業にするために＞

- I 授業で何がわかり、どのようなことができるようになったのか、自分の言葉で学んだことを振り返らせている。(南会津版リーフレット⑦・⑧)
- J 学んだことを活用したり、次の学びにつなげようと考えたりする場面を位置付けている。(南会津版リーフレット⑦・⑧)
- K 個に応じた振り返りの視点を与え、自分の成長や変容に気付くことができるようにしている。(南会津版リーフレット⑧)

子どもの学びから自分の指導を振り返っている。

明日の授業で意識することは

(A～K を記入)

(A～Kを記入)